

香川県支部だより

山中正人

香川県透析医会は昭和63年7月に、高松赤十字病院泌尿器科部長であった故今川章夫先生を発起人として発足した。現在、本会は香川県下43の透析施設を中心とした施設会員で構成されている。香川県は平成26年4月現在、67名の透析専門医を有し、平成24年末現在、約2,571名の透析患者の治療を行っている。

本会の目的は、①透析療法および関連分野の研究と資料情報の交換、②香川県における人工透析の普及と成績向上、③透析患者の福祉向上、としている。平成24年7月に私自身が第4代香川県透析医会会長に就任した。平成25年7月7日には、第50回目となる香川県透析医会・医学会を開催することができ、香川県透析医会は香川県透析医療の発展に多大なる貢献をしてきた。

香川県は腹膜透析患者比率が平成24年末現在193名（7.5%）と、平成19年以降都道府県別第1位を継

続しており、在宅透析にも積極的に取り組んでいる（図1）。また、平成24年は東京都、愛知県、神奈川県に次いで4番目に多い献腎移植ドナーの提供（人口比あたりではトップレベル）があり、腎移植治療にも力を入れている¹⁾。今後は、透析導入患者の高齢化に備え、私たち透析施設だけでなく、在宅医療施設、訪問看護ステーション等とますます連携を密にし、透析患者が安心して前向きに透析を導入・継続できるような香川県透析医会として取り組んでいく所存である。

平成23年3月に発生した未曾有の東日本大震災をふまえ、また今後30年以内に50%の確率で発生するとされる南海地震等災害に備え、平成24年、本会において災害時情報伝達マニュアルを作成し13施設の災害基幹病院を中心とした連絡網が構築された（図2）。今後は香川県透析医会災害情報ネットワークと県行政機関との連携構築が必要と考えている。

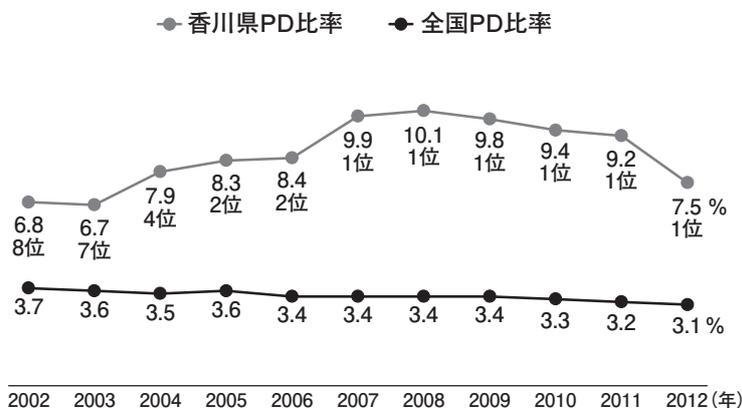


図1 PD患者比率の推移（香川県）
（JSDT統計）

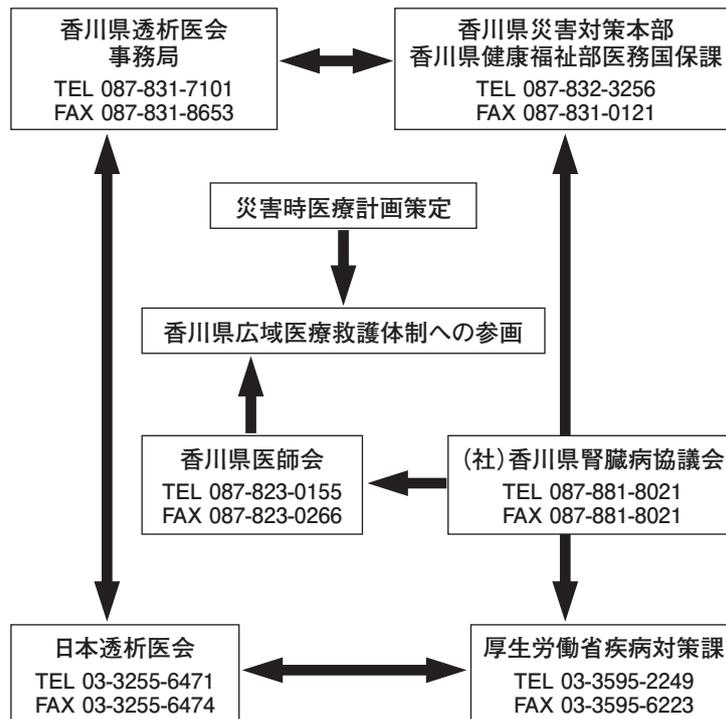


図2 香川県透析医療における防災対策ネットワーク

透析医療には、十分な電力および水の確保は必須なので、有事のさいに備え自家発電等、早急に各透析施設での対応が重要と考える。特に香川県は毎年のように渇水対策が必要な地域となっている。香川県では平成25年夏、香川県下43透析施設に計画停電時の対応に関しアンケート調査を行った。すべての施設の透析患者は計画停電時、各施設で透析を継続できることが確認でき、各施設での受け入れ可能透析患者数も把握できた(表1)。

平成14年3月31日に、香川県透析医会・医学会発表を中心に創刊した『香川県透析医会誌』については、平成17年4月30日の第3巻を発行後、しばらく発刊されていなかった。その後平成25年12月1日に第4

巻を発行し、現在第5巻発行準備に入っているところである。

透析医療費削減、後期高齢者の透析導入増加等、これまで以上に難しい透析医療の舵取りが必要な昨今だが、これまでのように、香川県では香川県透析医会が中心となり、人工透析の普及と成績向上および透析患者の福祉向上に努めていきたいと考えている。

文 献

- 1) 上田修史, 林田有史, 杉本幹史, 他: 献腎移植のドナー不足に対する香川県の10年間の取り組みと献腎移植数の推移. 西日泌尿, 75; 586-590, 2013.

表1 人工透析実施医療機関 計画停電に対する調査結果一覧

No.	医療圏	県内透析施設名	医会会員	全施設				通電施設	停電予定医療機関								通電医療機関			
				血液透析	腹膜透析	その他	計		通常透析可能	対応方法 代替電源	その他	通常透析不可	代替措置 時間回避	延長	他院 依頼	病院名	その他	受入可能 機関	受入人数 1日or 1週	
1	高松	高松赤十字病院	◎	60	50		110	○											○	20日
2	高松	香川県立中央病院	◎	42	30		72	○											×	
3	高松	高松市民病院	◎	50	3		53	○											○	午後
4	高松	キナシ大林病院	◎	280	10		290	○											○	午後
5	高松	履島総合病院	◎	35	7		42	○											○	月・水・金の午後
6	高松	高松病院	○	27	3		30	○											○	
7	高松	社会保険栗林病院	○	5	0		5	○											×	
8	高松	八幡みやけ内科医院	○	65	2		67	●											○	
9	高松	トイバナクリニック	○	60	0		60													
10	高松	花ノ宮クリニック	○	57	8	2	67		在宅血液透析											
11	高松	湯浅クリニック	○	36	0		36													
12	高松	中空医院	○	25	0		25													
13	高松	あきやまクリニック	○	95	0		95													
14	高松	香川県済生会病院	○	60	5		65	○											○	
15	高松	横井内科医院	○	27	0		27													
16	高松	三好内科医院	○	59	0		59													
17	高松	はまもと医院	○	23	0		23													
18	高松	海部医院	○	160	0		160	○												
19	高松	香川大学医学部附属病院	◎	3	15		18	○												
20	高松	川人外科内科医院	○	74	0		74													
21	大川	さぬき市民病院	◎	41	7		48	○												
22	大川	岡病院	○	0	0		0		透析患者なし											
23	大川	太田病院	○	68	1		69	○												
24	小豆	(内海病院)																		
25	中讃	普通寺病院	◎	63	2		65	○												
26	中讃	香川労災病院	◎	22	6		28	○												
27	中讃	滝宮総合病院	◎	60	10		70	○												
28	中讃	回生病院	◎	62	1		63	○												
29	中讃	永生病院	○	40	1		41	○												
30	中讃	麻田総合病院	○	16	0		16	○												
31	中讃	陶病院	○	39	1		40	○												
32	中讃	宮野病院	○	126	5		131	●												
33	中讃	河内病院	○	18	0		18	○												
34	中讃	淡河医院	○	22	1		23	●												
35	中讃	普通寺前田病院	○	27	0		27													
36	中讃	宇多津クリニック	○	103	21		124													
37	中讃	山本ヒフ泌尿器科医院	○	63	2		65	●												
38	三豊	三豊総合病院	◎	53	19		72	○												
39	三豊	岩崎病院	○	64	0		64	○												
40	三豊	香川井下病院	○	109	0		109	○												
41	三豊	池田外科医院	○	19	0		19													
42	三豊	クニタクリニック	○	24	0		24	●												
43	三豊	みとよ内科にれクリニック	○	41	0		41													
		計		42	2323	210	2	2535	27	1	1	0	13	13	9	1	1	0	23	

64.3%

【凡例】
 ・「医会会員」… ◎:基幹病院 ○:その他
 ・「通電施設」… ○:国により指定 ●:友連れ通電施設

【分析】
 ・透析医会会員施設(42機関 内海病院を除く)のうち、計画停電時も通電される施設は、27機関(64.3%)であり、停電施設は、15機関。
 ・停電施設15機関のうち、代替電源で対応する施設が1機関、透析時間回避等の代替措置を実施する施設が13機関(他病院へ依頼する施設(1機関)含む)。
 ※現在透析患者がいない施設が1機関(岡病院)ある。
 ・通電施設27機関のうち、他病院の受入が可能な医療機関は、様々な条件があるものの23機関。